

サーキュラーパートナーシップEXPO

ステージイベント **プログラム** 第1日目

2026年 12月 2日（水）

11:00〜12:10（70分）

タイトル **再生プラスチックの普及に向けて　製造×小売で語る、連携の壁と乗り越え方**

概要 再生プラスチックの普及には、回収、リサイクル、製造、小売、生活者へとつながるバリューチェーンの中で、どこに壁が生まれ、何をすり合わせる必要があるのか。製造と小売それぞれの立場から、実装の過程で直面する課題や判断に焦点を当て、企業の境界を越えて再生プラスチックを普及させるための連携のあり方を考えます。

講師
高森 寛子 氏（大日本印刷 第３ビジネスユニット開発本部サステナビリティ推進部 部長）
設楽 良昌 氏（日本生活協同組合連合会 ブランド戦略本部 サステナビリティ戦略室 サステナビリティ戦略担当）
増井 宏之 氏（ライオン 経営企画部ESG企画室 資源循環戦略コーディネーター）

モデレーター
新井 理恵 氏（三菱総合研究所 GX本部 サーキュラーエコノミーグループ 主席研究員）

13:00〜14:00（60分）

タイトル **企業は、なぜ自治体と組むのか 地域課題から始めるサーキュラーエコノミー**

概要 CEを地域に根付かせるには、行政だけでも企業だけでも進められません。埼玉県と亀岡市の実践を通じて、自治体と企業が連携することで何が可能になるのかを掘り下げます。地域が抱える課題とCEとの接点にも着目し、地域のプレイヤーを巻き込みながら、新しい循環を生み出す方法を考えます。

講師
山川 忠彦 氏（埼玉県 産業労働部 新産業育成課 主幹）
坂野 晶 氏（ゼロ・ウェイスト・ジャパン 代表理事）
曽我部 育 氏（京都府亀岡市 環境先進都市推進部 資源循環推進課・主幹）

モデレーター
加藤 佑 氏（アーティクル 代表取締役）

14:30〜15:10（40分）

タイトル **【基調講演】日本の資源循環経済政策について**

概要 近年、廃棄物処理や気候変動等の環境制約に加え、資源制約によるリスク対応の観点からも、サーキュラーエコノミーへの移行が喫緊の課題となっており、成長分野としての期待も高まっています。本講演では、我が国の資源循環経済政策の最新動向について解説します。

講師 **三牧 純一郎** 氏（経済産業省 イノベーション・環境局 GXグループ 資源循環経済課長）

15:40〜16:20（40分）

タイトル **【政策講演】環境省における循環経済の移行に向けた施策の最新動向**

概要 本講演では、循環経済を巡る世界的な背景を踏まえ、環境省が関わる再資源化事業等高度化法や廃棄物処理法改正などの政策動向、資源循環自治体フォーラムなどの関係者の連携の取り組みなど資源循環政策について概括します。

講師 **相澤 寛史** 氏（環境省 環境再生・資源循環局 資源循環課長）

ご参加には、以下サイト（または左記QR）より事前登録が必要です。

サーキュラーパートナーシップEXPO 2026

https://messe.nikkei.co.jp/cp/　※会場：東京ビッグサイト［東ホール］

皆さまのご来場をお待ちしております。



サーキュラーパートナーシップEXPO

ステージイベント **プログラム** 第2日目

2026年 12月 3日（木）

11:00〜12:10（70分）

タイトル **リサイクルの、その先へ**
最新技術が拓く、これからの資源循環ビジネスへの挑戦

概要 資源価値の高い廃電気・電子機器から貴金属・銅、レアメタル、ベースメタル、プラスチック等の資源を余すことなく循環利用するための技術開発や実証が進んでいます。本セッションでは、産学官連携で開発に取り組んできた技術をご紹介するとともに、この技術を実際の現場や事業化へとつなげるために必要な視点や連携のあり方を探ります。

講師
金城 正信 氏（金城産業　代表取締役社長）
大木 達也 氏（産業技術総合研究所　首席研究員）
三宅 岳 氏（パナソニックホールディングス　マニュファクチャリングイノベーション本部　環境システム技術部　資源循環技術課 課長）
中村 崇 氏（東北大学名誉教授/福岡県リサイクル総合研究事業化センター センター長）

13:00〜14:00（60分）

タイトル **サーキュラー新ビジネス公開作戦会議**
メーカー・リサイクラー・消費者で考える循環ビジネスのつくり方

概要 循環を持続可能なビジネスにするには、つくる側、資源を循環させる側、選ぶ側、それぞれの課題を越える必要があります。メーカー・リサイクラー・消費者が本音の課題を持ち寄り、コストや品質、購買行動などの現実から、誰が何を担い、どこに価値と収益を生み出せるのかを公開討論します。

講師
服部 裕司 氏（esa　営業本部　担当部長）
松本 佳純 氏（慶応義塾大学　総合政策学部1年）
諫山 典生 氏（TOPPAN　生活・産業BU 国内パッケージSBU SXマーケティング本部）
寺井 正幸 氏（ごみの学校　代表）

14:30〜15:10（40分）

タイトル **世界のCEはどこへ向かう 国際潮流から考える、日本企業が持つべき視点**

概要 世界でCEをめぐる政策やルール形成が進む中、企業はその変化をどう捉え、事業展開につなげていくべきか。国際的な政策動向を俯瞰しながら、日本企業への影響や今後CEを新たな機会につなげるための視点について議論します。

講師
粟生木 千佳 氏（国際協力機構（JICA）　地球環境部　アソシエイト専門員）

15:40〜16:20（40分）

タイトル **循環を『欲しい』に変えられるか　CE社会実装のためのデザイン戦略**

概要 CEの実現には、技術や制度だけでなく、人々が自然と参加したくなる仕組みづくりが欠かせません。それぞれの視点から、価値創出と行動変容を促すデザインの役割を議論し、CE社会実装の可能性を探ります。

講師
田中 浩也 氏（慶応義塾大学　環境情報学部　教授）
間瀬 雅介 氏（REMARE　代表取締役社長）
堀田 峰布子 氏（電通ライブ　執行役員CSXO）

ご参加には、以下サイト（または左記QR）より事前登録が必要です。

サーキュラーパートナーシップEXPO 2026

https://messe.nikkei.co.jp/cp/　※会場：東京ビッグサイト［東ホール］

皆さまのご来場をお待ちしております。